

保健福祉大会 増田寛也氏講演

CONTENTS

- 総社流戦略で地方創生に挑む…… 2
- 市役所の組織が変わります…… 4
- 「雑がみ」のルールが変更します…… 6
- お知らせ…… 12
- そうじゃ!ヘルシーメニュー…… 23
- フォトニュース…… 26

2015
平成27年
No. 120

3

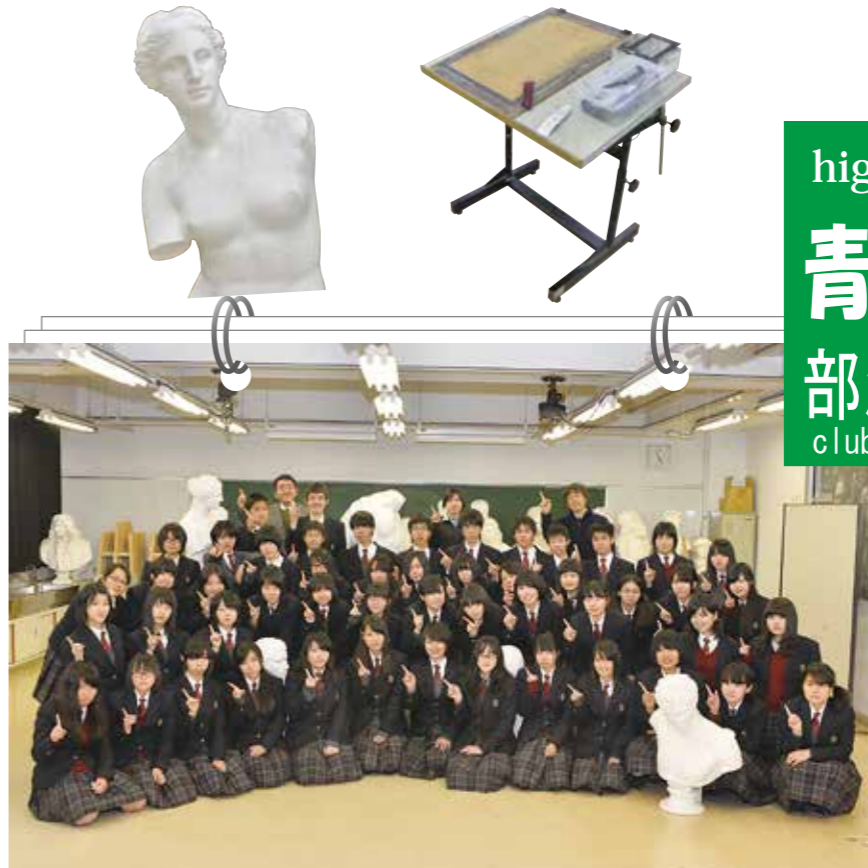
平成27年3月号 No. 120
平成27年3月1日発行

発行／総社市役所 編集／企画課広報広聴係
電話0866(92)8214
Eメール kikaku@city.soja.okayama.jp

〒719-1192 岡山県総社市中央一丁目1番1号
広報紙の配布 電話0866(92)8218(総務課) FAX0866(93)9479
総社市役所のホームページ http://www.city.soja.okayama.jp/ 総社市携帯サイト



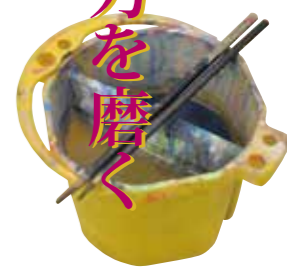
元総務大臣・日本創成会議座長 地方創生を語る



high school student's 青春の1ページ 部活動紹介12 club introduction

総社南高等学校 美術部

作品制作を通し 発想力と創作力を磨く



総社南高等学校美術部の部員。個性を伸ばしながら作品制作に打ち込んでいる

毎年、全国高等学校総合文化祭に岡山県代表として出場する総社南高等学校美術部。部員は総勢84人。同校には美術を学ぶ類型があるため、より専門的な活動ができる。卒業後は美術関係の大学や専門学校などに進み、活躍する生徒が多い。

同じ夢をもつ部員同士が互いに刺激し合い、さまざまな感性や表現を感じとる。そのなかで、自らの発想力と創作力を磨き、成長している。

生徒が制作した作品には、それぞれ違った輝きがある。美術の美しさ、力強さ、繊細さなどを見る人に伝え、より一層輝きを放つ。



部活を支える3人の顧問

「美術は個人でやるもの」という印象があるが、部員同士が互いに切磋琢磨し、集団の力で成長できている。社会性を養って、自分の技術や個性を社会にどのような形で生かせるか模索してほしい。また、美術の楽しさ、ものを作る喜びを、次の世代にも伝えられる人になってほしいです。



小山絢女 部長 (備前中出身)

総社南高校の美術部でぜひ学びたいと思い入部しました。部活を通して、一つのものを完成させることの難しさ、楽しさ、大切さを学ぶことができました。大学に進学しても大好きな美術を続け、将来は美術に親しみのない人にも、美術のすばらしさを伝えられるような活動をしたいです。

編集後記

■全国小学生バドミントン選手権大会で優勝した吉川天乃さんと平田瑠月さんすぞい!。東京オリンピックで活躍する二人の姿が見たいな。(E・M)

■東日本大震災チャリティアイコンサートの取材で初めて井原鉄道に乗りました。車内がきれいで快適でした。(W・S)

■今回で青春の1ページの連載が終わりです。とても楽しい取材ばかりでした。取材に協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。(N・K)

■時代と共に便利になっていく現代。4月から始まるクレジットカードでの納付、ぜひ活用してみたいな。(O・H)

今月の表紙



講演を終えた増田寛也元総務大臣(後列左から2人目)と写真におさまる市長と市職員ら。人口減少予測に反し増加している総社市に、増田さんから激励の言葉をいれたとき、さらなる福祉政策の充実を誓った。